

1 本校の学力向上にかかる課題と改善された課題

○国語科

- ・話す、書くことを大切に、主語述語の関係を意識し、何が言いたいのか自分の考えを持ち、友だちの考えと比べ、まとめる力をさらに身に付ける。

○算数科

- ・基礎・基本は定着しておりそれをもとに、生活場面に振り返り、考えていこうとする力を伸ばす。

○学習状況調査

- ・自分の考えや意見を伝えたり、聞いたりすることが苦手である。

改善された課題

- ・様々な考えを聞き合うことで目的や意図に応じて、作者の考えを理解しようとする力が身に付いてきた。
- ・スマートフォンなどメディアの利用が少なく、学力を支える基盤の学習状況や生活習慣が良好な状況である。
- ・様々な方法、考えを出し合う授業を通して、なぜを追求し、解答に結びつけるようになってきた。

2 本校の学力向上目標

「学校の授業がよくわかる」

89% (H28.6月12月)

1 学力向上のための授業改善 (校内研究)

2 学びの習慣づくり (校内研究)

3 読書活動の充実

4 学びの土台づくり (校内研修)

3, 本年度の具体的方策

① 学力向上のための授業改善

「自分の考えを持たせる授業」への改善⇒甲賀授業術「5箇条」の具体化

- 国語の指導…考えを導くためのペア・グループ活動を支える教師の力量
- 算数の指導…予習を活かした授業改善。考えを伝え合う授業、効果的な授業形態の工夫
- 指導法の工夫・改善…思考力・判断力・表現力の系統性を明らかにした授業研究
- 基礎基本の内容の習得…各教科の基礎基本を明らかにした指導法の確立
各教科において「読む・書く・話す」を意識した授業

② 学びの習慣づくり

- 学習習慣の確立…学習規律の習得 (思考・表現方法のスキルアップ)
- 言語活動の充実…詩や名文の朗読 (かがやきタイム・国語科) 学習成果の掲示
- 家庭との連携による家庭学習…「予習・復習」の充実 「学年×10分」の家庭学習 「学びのすすめ」の活用…調べたり書いたり文章を書いたりする家庭学習
- 発表・発信の場の設定…全校集会、朝・昼の校内放送の活用

③ 読書活動の充実

- 『忍法読書カード』の活用
- 「おすすめの本」の読破
- 読み聞かせ・図書ボランティア活動などによる読書活動の推進

④ 学びの土台づくり

- 児童に考えさせる場づくり
 - ・児童が進める学級話し合い活動
 - ・児童の発想を生かした委員会活動 児童が計画するクラブ活動 児童が進行する集会活動
- 認め合える学級風土づくりのためのソーシャルスキル教育等実践 (自尊感情の高揚)
- 学力アップ補強 (放課後教室 夏季休業中)

3 学力向上の検証 (評価および方法)

- 学校評価アンケート (7, 12月)
- 学習状況・生活状況調査 (7, 12月)
- 全国学力・学習状況調査 (4月)
- 市学びの確認 (4/5年)
- 県算数学力調査 (2月)

4 学力向上策の検証

全国学力・学習状況調査などの結果を参考に検証
「学力向上策の再策定」(H30年2月) 次年度に向けて